

《3rd アルバム CD リリース記念》

小池香織

ヴィオラ・ダ・ガンバリサイタル

バロック・ハープ 曾根田 駿



「17世紀のヴィオラ・ダ・ガンバ音楽」

F.ロニーニ (ca.1570-after 1626): 「スザンナはある日」によるデミニューション

C.シンプソン (ca.1605-1669): グラウンドによるディヴィジョン ホ短調

G.フィンガー (ca.1600-1730): ソナタ ニ長調

サント=コロンブ (1630~1640-1690~1700): 無伴奏ヴィオール曲集より

作者不詳 (late 17th century): リューベックのヴィオラ・ダ・ガンバ・ソロ

J.シェンク (1660-after 1712): ソナタ第 11 番 ハ長調 「時と芸術の始まり Op.2」より

M.イ・コル (ca.1661-ca.1740): フォリア

2026年 4月 25日(土) 14:30 開演(14:00開場)

今井館聖書講堂

(JR 山手線駒込駅より徒歩 11 分、南北線駒込駅より徒歩 8 分、都営三田線千石駅より徒歩 5 分)

前売券 4,000 円 / 当日券 4,500 円

CD セット券 6,500 円

※CD セット券をご予約の方は下記のコンサート事務局へご連絡ください。

【チケットご予約 / お問い合わせ】

小池香織コンサート事務局 baroquelustre@yahoo.co.jp

【チケット(前売券のみ)取り扱い】 TIGET <https://tiget.net/events/450190>

〈後援〉日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会



前売券 QRコード



《小池香織 3rd アルバム》

「17世紀のヴィオラ・ダ・ガンバ音楽」

2026年5月7日 ALM RECORDS よりリリース(4月25日先行販売) 定価 3,300円(税込)

<収録曲>

F.ロニョーニ *Francesco Rognoni* (ca.1570–after 1626): 「スザンナはある日」によるディミニューション

C.シンプソン *Christopher Simpson* (ca.1605–1669): グラウンドによるディヴィジョン ホ短調

G.フィンガー *Gottfried Finger* (ca.1600–1730): ソナタ ニ長調

サント=コロンブ *Sainte-Colombe* (1630~1640–1690~1700): 無伴奏ヴィオール曲集より

作者不詳 *anonymous* (late 17th century): リューベックのヴィオラ・ダ・ガンバ・ソロ

J.シェンク *Johannes Schenck* (1660–after 1712): ソナタ第11番 ハ長調 「時と芸術の始まり Op.2」より

M.イ=コル *Martin y Coll* (ca.1661–ca.1740): フォリア

これまで、第1作「バッハ×ヴィオラ・ダ・ガンバ」、第2作「テレマン×ヴィオラ・ダ・ガンバ」と、18世紀の代表的な作曲家に焦点を当て CD 収録してきましたが、今回は「17世紀のヴィオラ・ダ・ガンバ音楽」と題して、ヨーロッパ各地の17世紀に生み出された名曲を選びすぎり一枚に収めました。18世紀の作品とは一味違った趣、アプローチの仕方や奏法も異なり、より即興性が求められるこの時代の音楽は、接した者の心を揺さぶり情動を誘う、その沼に嵌ったら抜け出したいほどの心地よさ、その虜になるような独特の世界観があります。

今回は曾根田駿さんのバロック・ハープとともに、その世界観を17世紀モデルのヴィオラ・ダ・ガンバとミントーンの影響でお楽しみいただけましたら幸いです。

小池香織

小池 香織 *Kaori KOIKE* ヴィオラ・ダ・ガンバ



東海大学教養学部芸術学科卒業、同大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻修士課程修了。ヴィオラ・ダ・ガンバを志水哲雄氏に師事。第74回読売新聞社主催新人演奏会に出演。2005年、ヘルムート・リリング率いるドイツ・シュトゥットガルト国際バッハアカデミーのオーディションに合格し渡独。ドイツ国立プレーメン芸術大学古楽科修了。ヴィオラ・ダ・ガンバをヒレ・ペアルに、オーケストラ及び室内楽をトマス・アルベルトに、音楽理論と対位法をマンフレード・コーデスに、通奏低音をアンゲリカ・モシスの各氏に師事。2007、2008年にはイギリス・ロンドン王立音楽大学へ研修生として渡英。在欧中は「プレーマーバロックコンソート」のメンバーとしてヨーロッパ各地で演奏活動を行う。一方で受難曲、カンタータ、オラトリオ等でソリスト、通奏低音奏者として招かれ多数の演奏会に出演し研鑽を積む。2009年、ソリスト・ディプロム及び国家演奏家資格を取得。2010年、拠点を日本に移し演奏活動を展開。現在は日本とヨーロッパを行き来しドイツ、イタリアなど数々の国際音楽祭に招聘されている。日本では2006年、2010年、2013年、2017年、2021年にソロリサイタルを開催。2017年、1st ソロ CD アルバム「バッハ×ヴィオラ・ダ・ガンバ」をリリース。各誌で評価を得て、日本経済新聞電子版 NIKKEI STYLE にも取り上げられインタビュー及び演奏が動画配信される。2021年、2nd ソロ CD アルバム「テレマン×ヴィオラ・ダ・ガンバ」をリリース。読売新聞サウンズ BOX 推薦盤、芸術現代社音楽現代推薦盤、朝日新聞 for your Collection に選出され好評を博す。また、後進の指導にも力を入れ定評のあるレッスンを行っている。

【小池香織オフィシャルウェブサイト】 <https://kaorikoike-violadagamba.mystrikingly.com/>

曾根田 駿 *Hayao SONEDA* バロック・ハープ

愛媛県松山市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科チェンバロ専攻卒業。2015年より渡仏し、リヨン国立高等音楽院のチェンバロ専攻、古楽ハープ専攻それぞれの演奏家ディプロマを取得。2020年に同校のチェンバロ(通奏低音/コレペティ)専攻修士課程修了後、完全帰国した。2020年度フランス音楽芸術著作権管理協会アダミ ADAMI より奨学金を受ける。現在は中島恵美とのデュオ「イ・フィアトリー・ディ・ムジカ」を中心に活動し、2023年には1st.CD アルバム「スプレッツァトゥーラ」をリリース。レッスン、様々なイベントを通じて歴史的演奏法の魅力を発信するべく活動しているほか、各楽器のソロ奏者、アンサンブル奏者として「アンサンブル・アカデミア・ムジカ」、「アントネッロ」などの様々な古楽アンサンブルとも共演している。聖グレゴリオの家宗宗教音楽研究所、古楽科講座「音楽語法の実際」では即興の講師を務める。



1st アルバム 「バッハ×ヴィオラ・ダ・ガンバ」



バッハの作曲した3つの《ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ》緊密で豊潤なポリフォニーを、新進気鋭のヴィオラ・ダ・ガンバ奏者、小池香織が鮮やかに描き出す。かの傑作《マタイ受難曲》の中で、ここぞとばかりにヴィオラ・ダ・ガンバが登場する場面を併せて収録。バッハがヴィオラ・ダ・ガンバの音色に託した世界を、ここに聴く。

2nd アルバム 「テレマン×ヴィオラ・ダ・ガンバ」



前作「バッハ×ヴィオラ・ダ・ガンバ」に続いて小池香織が贈るのは、バッハと同時代の大家テレマンによるヴィオラ・ダ・ガンバのための組曲、ソナタ、協奏曲を集めた一枚。伸びやかに歌いあげるソロ・ソナタをはじめ、実力派の共演者陣と交わす音楽的対話とともに躍動する舞曲から抒情的楽章まで、テレマンがこの楽器に見出した本性と魅力を多角的に聴かせる。